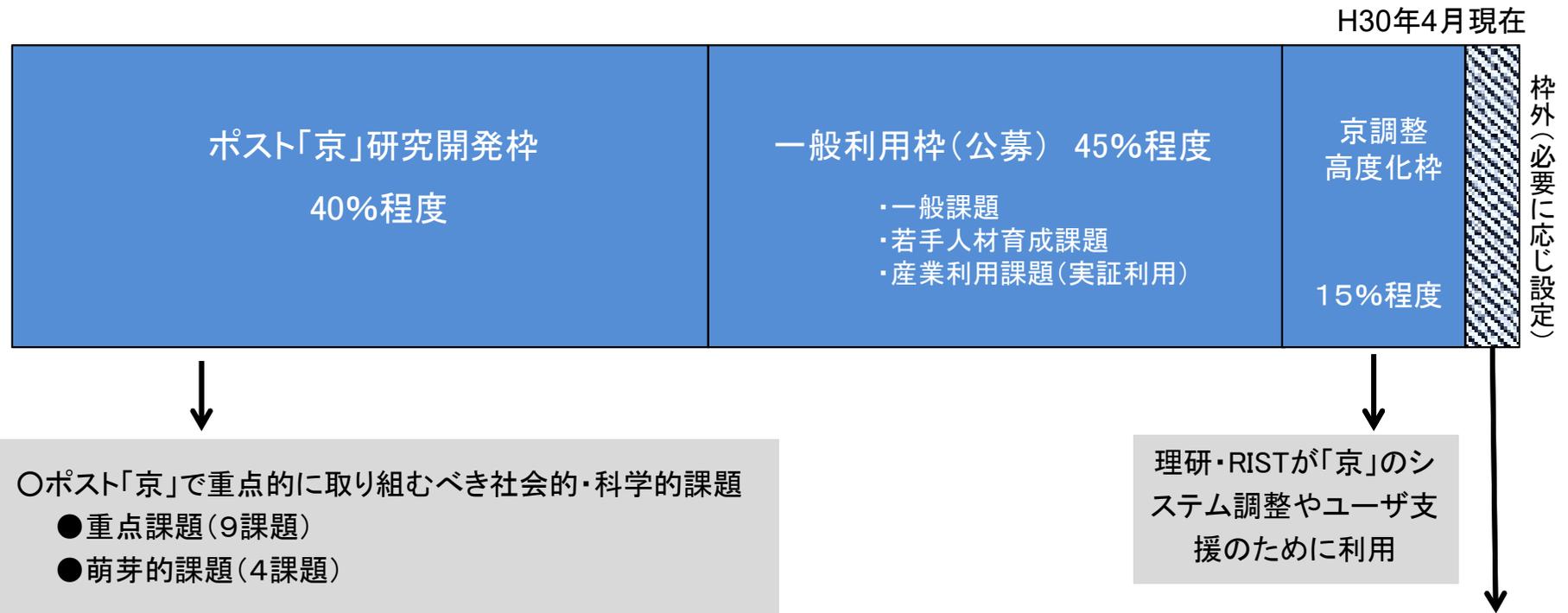


「京」の計算資源の利用内訳

資料3-2



- 「京」の総計算資源量の約39%が、企業参画課題(平成29年1月時点)
- 「京」の全利用者の約3割^{※1}が、企業の利用者(約490人^{※1})。全課題における参画企業数は、総勢150企業以上^{※2}
- 産業利用課題の高い課題採択率(93.3%)(一般課題58.5%)[※]平成28年度実施課題

※1 平成28年度4月から平成29年1月までの実績
※2 共用開始(平成24年9月)から平成29年1月までの実績

○(一般課題)競争的資金等獲得課題(有償)
(一般・産業)トライアル・ユース(無償)
(産業利用)成果非公開での利用(有償)

○重点化促進枠
政策的に重要かつ緊急な課題に利用(HPCI計画推進委員会で審査)等

○利用実績
内閣府政策統括官(防災担当)
平成27年度:「南海トラフの巨大地震及び首都直下地震による被害予測の高度化(長周期地震動)」
平成29年度:「相模トラフ沿いの巨大地震に伴う長周期地震動による被害予測の高度化」